



令和6年9月25日
京都市立藤ノ森小学校
校長 東原幹人
☎ 075(641)6305
FAX 075(641)7135
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/fujinomori-s/>

～令和6年度 第1回教育アンケートの結果をお知らせします～

平素は本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

藤ノ森小学校では、学校教育目標を『自ら学ぶ意欲と豊かな人間性をもち 心身ともにたくましく生きる藤ノ森の子』に設定し、目指す子ども像を「すすんで学ぶ子」「だれとでもつながる子」「やくそくを守る子」「しなやかで元気な子」として教育活動を行っております。(詳しくは学校ホームページ『令和6年度学校教育の基本構想』をご覧ください。) 保護者の皆様、地域の皆様にはお忙しい中、第1回目の教育アンケートにご協力いただきありがとうございました。同時に、児童には日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。

保護者の皆様、地域の皆様からいただきました教育アンケート・学校評価と児童の自己評価を通して、藤ノ森小学校の日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者や地域の皆様と一緒に、よりよい藤ノ森教育の在り方を探っていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。12月にも第2回目のアンケートを実施いたします。ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

実現度: そう思う・大体そう思う(よく出来ている・大体出来ている)を合わせた値

	質問項目	実現度
児童	① 学校生活は楽しいですか。	92.5%
	② 授業がよく分かりますか。	90%
	③ 学校や学級のルールを守って生活していますか。	87.4%
	④ 授業中、進んで学習に取り組んでいますか。	88.5%
	⑤ 授業中、先生や友達の話をしっかり聞き、話していますか。	89.6%
	⑥ 協力して学習することができていますか。	91.2%
保護者	① わが子が、楽しく学校に通うことができるよう働きかけている。	97%
	② わが子の学習の様子をつかもうと心がけている。	94.9%
	③ わが子がルールを守ることができるよう家でも働きかけている。	97.9%
	④ わが子に、進んで学習に取り組むことができるように働きかけている。	90.3%
	⑤ わが子に、人の話をしっかり聞くように働きかけている。	95.4%
	⑥ わが子に、誰とでも協力して学習することができるように働きかけている。	88.7%
教職員	① 児童が楽しく学校に通うことができるような学級・学校づくりに取り組んでいる。	100%
	② 授業の流れを明確にし、学習課題とまとめ、ふり返りを行っている。	96.8%
	③ 児童がルールを守ることができるように見守り、支援している。	100%
	④ 児童が進んで学習に取り組むことができるように働きかけている。	96.8%
	⑤ 児童が授業中、人の話を最後までしっかり聞くように働きかけている。	100%
	⑥ 誰とでも協力して学習することができるように働きかけている。	100%

	質問項目	実現度
児童	⑦ 家庭で自主学習（がんばり勉強）に取り組んでいますか。	85.2%
	⑧ ていねいな言葉づかいに気をつけていますか。	82.7%
	⑨ 進んで元気よくあいさつをしていますか。	81.3%
	⑩ 自分や人、ものを大切にしていますか。	94.3%
	⑪ 掃除や整理整頓をしっかりしていますか。	81%
	⑫ 進んで体を動かしていますか。	83%
	⑬ 日頃から読書をしていますか。	71.3%
	⑭ 自分の良いところが言えますか。	71.5%
	⑮ 学校での出来事をお家で話していますか。	82.1%
	⑯ わが子に、宿題や家庭学習の習慣が身につくように働きかけている。	90.9%
保護者	⑰ わが子に、丁寧な言葉づかいをするように、家でも言葉づかいに気をつけている。	81.7%
	⑱ わが子が、自分から進んで挨拶をするように、家でも挨拶をしている。	95.7%
	⑲ わが子が、人や物を大切にできるように働きかけている。	97%
	⑳ わが子に、掃除や整理整頓の習慣が身につくように、家でも整理整頓に努めている。	82.2%
	㉑ わが子が、自分から進んで体を動かすような言葉かけをしたり、機会をもったりしている。	81.1%
	㉒ わが子に、本をよく読むように進めている。	64.1%
	㉓ わが子のよさを認め、褒めるようにしている。	95.2%
	㉔ お便りやホームページなどで学校の様子を知るようにしている。	90.9%
	㉕ 児童に宿題や家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	100%
	㉖ 教職員自ら丁寧な言葉づかいを心がけている。	100%
教職員	㉗ 教職員自ら進んで挨拶をしている。	100%
	㉘ 児童が人や物を大切にできるように指導している。	100%
	㉙ 児童が掃除や整理整頓の習慣が身につくように働きかけている。	100%
	㉚ 児童が進んで体を動かすことができるようすすめている。	90.3%
	㉛ 児童の読書習慣が定着するように働きかけている。	93.5%
	㉜ 児童の良さを積極的に見つけ、認め、褒めるようにしている。	100%
	㉝ 各お便りやホームページ等で学級や児童の様子を伝えている。	90.4%
	㉞ 藤ノ森小学校「学校いじめ防止基本方針」の内容を理解し、組織的対応に努めている。	100%
	㉟ 児童・保護者の訴え（アンケート結果含む）や相談内容を共有している。	100%

【学校の取組について（学校評価）】

	質問項目	実現度
保護者	① 本校教職員が、教育に対して熱意と誠意をもつこと。	94.9%
	② 学校が、子どもの安全確保に気をつけること。	92.9%
	③ 学校が、学校の取組や様子について、学校だよりやホームページなどで情報発信していること。	92.7%
	④ 学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること。	91.4%
	⑤ 学校が、施設の整備など、充実した教育環境づくりに努めていること。	82.2%
	⑥ 学校が、家庭や地域との連携を大切にすること。	89.7%

【学校の取組について（学校評価）】

	質問項目	実現度
地域	① 子どもが、すすんで挨拶をすること。	65.3%
	② 本校教職員が、教育に対して熱意と誠意をもつこと。	96.2%
	③ 学校が、子どもの安全確保に気をつけること。	100%
	④ 学校が、学校の取組や様子について学校だよりやホームページ等で情報発信をしていること。	92.3%
	⑤ 学校が、気軽に連絡や相談ができる関係づくりに努めていること。	92.3%
	⑥ 学校が、施設の設備など、充実した環境づくりに努めていること。	84.6%
	⑦ 学校が、家庭や地域との連携を大切にしていること。	96.2%

地域アンケートにつきましては、藤森学区社会福祉協議会の皆様にアンケートへの協力を頂いています。

【すすんで学ぶ子】

児童質問項目⑤「授業中、先生や友達の話をしっかり聞き、話していますか。」では、89.6%ができている（そう思う・大体そう思う）と答えています。⑥「協力して学習することができていますか。」では91.2%ができていると答えています。本校では、対話で深める授業の実践を目指していますので、9割の児童が概ね満足ができる姿であるということが言えます。しかし、残りの1割の児童はできていない（あまりそう思わない・そう思わない）と答えています。もちろん、話すことが苦手な子どもも少なからずいますので、私たちは授業の中で必然的に話す仕組みを取り込んでいます。ペアで、グループで、全体で、自由に、など、いろいろな形態で話す授業を進めています。子どもたちには対話を通して伝え合う力を高めていってほしいと考えています。伝え合いでは、話し手は自分の思いを分かってもらえるように工夫して伝えようとし、聞き手は、話し手の思いに心を寄せ、話される内容や順序に気をつけながら聞こうとします。このような双方向型の言語のやりとりは相互理解に必要不可欠なものであり、「生きる力」の絶対的な基盤となります。伝え合いを円滑に行うことができれば、互いの理解が深まり、友達関係や学校生活がより一層楽しいものになるであろうと考えています。そのことが、共感的な人間関係の育成につながり、学習だけでなく、生活面にも良い影響を及ぼします。今後も、対話を重視した環境づくりを進めていきます。

【だれとでもつながる子】

藤ノ森小学校では多様な他者との出会いを大切にすることで、多様性を認める力を子どもたちにつけてほしいと教育活動を行っています。低学年では子どもたち同士のつながりを大切にし、そして高学年になると LGBTQ 教育やキャリア教育などで他者との出会いを大切にしています。児童質問項目⑩「自分や人、ものを大切にしていますか。」では94.3%ができていることから、友達を大切にしていることが分かります。実際の学校生活でも、藤ノ森の子どもたちはいろいろな場面で優しい姿を見せてくれています。

また、⑨「あいさつ」の項目では、児童の81.3%が、保護の95.7%ができていると答えていますが、地域質問項目①では、65.3%と実現度が低くなっています。子どもたちの自己評価と地域の方々の評価の差が大きい現状です。地域の方々の中には、見守り隊として、子どもたちの安全を見守ってくださっている方もいます。子どもたちのために活動をしてくださっている方々へのあいさつは、学校でも引き続き指導をします。ご家庭でも、一声かけていただけるとありがたいです。

【やくそくを守る子】

質問項目③の「やくそく・ルール」においては、保護者 97.9%、教職員 100%と高い実現度を示しています。少し下がりますが児童は 87.4%です。概ねできていると言えるでしょう。因みに、藤ノ森小学校での「やくそくを守る子」とは、決まり・約束・ルールを守るだけではありません。学習指導の場を含む、学校生活のあらゆる場や機会で子どもたちの「自ら律する力(自己指導能力)」の育成を目指しています。その時、その場でどのような行動が適切であるか自分で考えて、決めて、実行することができるよう、学校の教育活動全てで子どもたちを育てていきたいと思います。

【しなやかで元気な子】

児童質問項目⑫「進んで体を動かしていますか」では 83%の児童ができていると答えています。例年8割前後の児童ができていると答えていましたので、この傾向は変わらないと言えます。新型コロナによる行動制限は全くと言っていいほどなくなった現在ですが、熱中症予防対策での運動場開放の中止など、夏場は体を動かすことが難しいかもしれません。今後、涼しくなってきたときに学校でも体を動かす機会を増やしていきたいと思います。そして、体力と同様に気力の充実も大切にしていきます。今回の教育アンケートの項目にはありませんでしたが、夏休み明けの生活点検の結果から高学年になるにつれ、睡眠時間が減る傾向にあります。習い事等の関係もありますが、睡眠時間の確保、朝ご飯など規則正しい生活習慣へのご協力をお願ひいたします。

保護者の方々には、「ご家庭で効果的であった取組」についてお尋ねしました。数多くの記述をありがとうございました。家庭での読書習慣やスクリーンタイム(テレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間)などについてなど、一部ではありますが、紹介させていただきます。

- ・いけない行動を叱るより、すばらしい行動を褒めるように心がけています。さりげないお手伝いをしてくれた時など。
- ・親がご近所さんや地域、親御さんに挨拶をするようにしていると、子どもも同じように挨拶をしている。
- ・日常の挨拶と「ありがとうございます」「ごめんなさい」は大事だと伝えています。画面(テレビやタブレット、スマホなど)を見ない時間をつくりっています。子どもが興味をもっていることを親も一緒に楽しむ!
- ・読書に関しては興味がある図書を京都市図書館の Web サイトで予約し、常時数冊手に取れる状況としている。YouTube 等のデジタルコンテンツからは離脱が難しいため、月数日等の条件付きとしているが、それが習慣付いており、やることがなくなると、すぐにヒマと言うが、近くにある本を手にとって眺めてはいる。
- ・ゲームもタブレットの動画も自分でタイマーをセットして 30 分たてば休憩するようにしています。小さい頃から絵本が好きなので、リビングに本棚をおいていて、いつでも手にとって読めるようにしています。
- ・デジタルコンテンツ等は休日のみとし、可能な限り適切な睡眠時間が守れるように声をかけている。YouTube は極力閲覧しないよう条件付きとしている。
- ・最近のゲームは知らない人と繋がりやすくトラブルがあつたら困るという話を前もって聞くことが出来たので、我が家では知らない人とは喋れないようにしています。
- ・他校他学年の小学生と接する機会が多くあり、言葉使いが気になることが増えているため、家でそのような言葉を発した時は厳しく注意している。
- ・早寝早起きを毎日子どもができるよう、大人も早起きをすると、家族みんなが朝から意欲的になり、学校も仕事も休みなく過ごせることができ、改めて早寝早起きの凄さに気づかされました。